ご　挨　拶

北海道は，今年で開道112年になります．長い歴史を持つ本州の各県に比べると，その歴史はごく浅く，今後開発されるべき多くの要素を残した地域といえます．一方核医学会も，昨年ようやく成人式を終えたばかりの若い学会であり，学問としても成長期にあります．北海道という大らかな環境の中での学会開催が，実り豊かな学術交流と心暖まる人間的ふれあいをもたらすことができればと，ひそかに念願しております．

一般演題は，遠隔地での開催にもかかわらず，459題もの多数にのぼりました．改めて核医学の着実な発展を会員の皆様と喜びたいと思います．一般演題の中では，心臓および腫瘍に関する演題が多くを占めており，プログラムもこの両者を中心に編成しました．

演題が大幅にふえた結果，発表会場は7会場となり，発表時間も8分（口演6分，討論2分）となりました．例年よりやや短かくなっておりますが，時間内での発表にご協力下さい．

新しい発表形式として，今回初めて展示発表を採り入れました．座長のもとで，タイムスケジュールに従って発表していただきますが，発表内容によっては，口演より効果的な発表形式になるものと期待しております．展示効果のあるポスターを準備されるよう希望します．

全員一会場のセッションを多くしたいとの考えから，今総会では，第1日と第2日の午前中で一般演題を全て消化することにしました．第2日の午後以降は，第1会場のみで運営します．核医学の多面性に多少なりとも対処できればと思っております．

特別講演は5題，招待講演は2題になりました．このうち，外国からの招待者は6人です．

学会最終日に，「腫瘍核医学総括討論会」と「心臓核医学総括討論会」を行います．これも今回，初めての試みですが，多会場での発表に伴う不備を補う目的で行うものです．座長の先生にはご負担をおかけしますが，ご協力下さるようお願いいたします．

医薬品展示は教育文化会館の市民ロビーで，機器展示はテイセンホールで行います．発表会場と展示会場とを巡回バスで結び，足の確保をいたしますので，多数の会員にお立ち寄りいただけるものと期待しております．

なお，今回の機器展示は学会事務局で運営し，展示の一部を学術展示としました．学術展示には，医用サイクロトロン，エミッションCTなどが展示される予定です．

ビジネス総会は第2日，第1会場で，懇親会は第2日夜，札幌ビール園で行います．多数のご参加をお

Presented by Medical*Online

願いいたします．

関係者一同，本総会の成功を願って最大の努力をして参りましたが，何分不馴れのため不行届きの点も多々あろうかと思います．よろしくご容赦いただきたくお願い申し上げます．

日本核医学会会長

入　江　五　朗

Presented by Medical*Online